



茨城県牛久市



第120号

2024年(令和6年)
10月31日発行

第2回臨時会
第3回定例会

議長賞
下根中学校2年生

題字が変わりました！

市内の小中学生に夏休みの課題として募集したところ
443通の応募がありました。
個性あふれる多くの作品をありがとうございました。

19ページに特集
記事を掲載して
います。



決算特別委員会が行く!



令和7年4月の開校目指して、工事が急ピッチで進む!



おくの義務教育学校一体型校舎建設

令和5年度支出済額

12億303万8067円

令和6年度と合わせた総事業費

約38億7000万円

旧牛久第二中学校の3階建の校舎を長寿命化改修し、その北側に2階建ての増築校舎を建設します。また給食室や武道場につながる2階建ての開放廊下、生徒を迎え入れる入り口にはビッググループを配置し、駐輪場と昇降口をつなぐ屋根付き歩廊を整備します。おくの義務教育学校の300人近い1年生から9年生の学び舎のお披露目はまもなくです。



市内には7か所の市営住宅があるものの、入居率は低く・・・

市営神谷住宅の長寿命化工事

市営神谷住宅7号棟及び駐輪場屋根・外壁改修工事等

支出済額 1386万円

市営神谷住宅6・7・8号棟給水ポンプ更新工事

支出済額 324万5000円

1994年に建設された6号棟から8号棟は、1棟が3階建て6戸の部屋があり間取りは3DKとなっています。神谷住宅全体では1号棟から8号棟まであり、管理している戸数は72戸ですがそのうち入居しているのは46戸となっています。入居者を募集しても応募する人が少なくなっており、現在市内7か所にある市営住宅も含め、市民に求められている住宅とは何なのか。現在の社会情勢や家族構成に即した市営住宅のあり方を再考する時期にあるのではないのでしょうか。



給水ポンプ場



リフォームしたダイニングキッチン

令和5年度決算 原案すべてを可決 安定した持続可能な市民サービスが提供できたか！

一般会計

歳入 **334億5000万円**

対前年度比0.6% 2億円の増額

歳出 **316億5000万円**

対前年度比1.2% 3億8千万円の増額

経常収支比率は**93.6%** 前年度値91.6%から2%増加

令和5年度の一般会計歳入は、地方交付税交付金や国庫支出金などの依存財源の増額とともに、地方税やふるさと寄附金などの自主財源も増額となった。

一方の歳出についても、おくの義務教育学校一体型校舎建設やふるさと寄附増額に伴う返礼事業により増額となった。

各会計別決算総括表

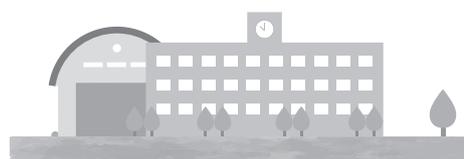
(単位：百万円)

会計	区分	予算額	決算額
一般会計	歳入	35,067	33,499
	歳出	35,056	31,708
国民健康保険	歳入	7,700	7,261
	歳出	7,700	7,260
介護保険	歳入	6,381	6,838
	歳出	6,381	6,259
後期高齢者医療	歳入	2,454	2,353
	歳出	2,454	2,353
青果市場	歳入	17	15
	歳出	17	14
下水道	収入	1,665	1,612
	支出	1,613	1,560

監査委員の報告より抜粋
全国的な少子高齢化、変化の著しい社会情勢の中で、人口減少に伴う税収減、社会保障費の増大、公共施設の老朽化、膨らむ人件費など、課題は山積している。
職員一人ひとりが直面する重要課題に積極的に挑んでいくためにも、ポストコロナを意識した行財政運営を望むものである。

気になる借金（市債）と預金（基金）は？

	令和5年度 (令和4年度)
市債残高 (全会計)	305億4800万円 (316億6800万円)
基金残高	93億2900万円 (82億4800万円)



知^得!

決算の認定って？ なんでこの時期なの？

決算は、牛久市に入ったお金（収入）や使ったお金（支出）の実績です。決算の認定とは、1年間の決算の内容について、議会が確認して、確定することです。

議会では、使われ方が正しいか、事業の成果があがったかなどを審査します。

決算の審査は、使われた結果を検討することで、今後の予算編成に反映させ、お金の使われ方を適正で効果的にしていく役割があります。

決算特別委員会

委員長 池辺 己実夫 副委員長 高嶋 基樹
委員 黒木 のぶ子 須藤 京子 小松崎 伸
山本 伸子 伊藤 裕一 鈴木 勝利
大森 和夫 塚原 正彦 加藤 政之

令和6年3月31日 会計年度（令和5年度）終了

出納整理期間

事業が終わった後に金銭の精算をするための期間。令和5年度の事業に係わる現金の未収や未払いの整理を行う。

令和6年5月31日

出納を閉鎖

決算の調製

会計管理者は決算書を作成し、市長へ提出する。

監査委員の決算審査

監査委員は決算審査を行い、意見書を作成する。

令和6年9月

議会提出

令和6年第3回定例会

議会は決算特別委員会に付託し、審査を行う。

財政の硬直化につながらないように、費用対効果の検証を審査

グリーンファームの 再生に向けて

第3セクターの農業法人の赤字脱却へ経営安定化補助金を交付



農業や漁業団体等の活動を支援する
1000万円

議員のここチェック

問 経営安定化補助金の使い道と経営がどれほど安定したのか。

答 令和5年末に運転資金がほぼない状況に陥り、融資を受けた返済金の支払いが滞る寸前であったが、補助金により危機的な状況を脱し、新たな作物や農業資材を購入することができ、令和5年度については黒字決算となった。

私もひとこと



牛久グリーンファーム株式会社
佐藤 尚徳さん

第3セクターの農業法人として、従業員一同、学校奉仕作業・登下校の見守り・園児の収穫体験等、顔の見える活動を通して、一層の経費削減により経営を安定化させ、牛久市の農業振興に寄与します。

被災地を物資と派遣の 両面で支援

能登町などへ10人の職員を派遣



能登半島地震による被災団体を
支援する 336万円

議員のここチェック

問 被災地への支援の具体的な人数や支援地は

答 派遣人数は10名で、9名は能登町でそのうち2名が避難所運営、5名が家屋の被害認定調査、2名は牛久市独自で非常食3750食とブルーシート200枚の支援物資を届けた。残る1名は保健師で輪島市へ派遣した。

私もひとこと

牛久市防災課
杉山 正光さん



令和6年元日、能登半島を大地震が襲いました。

何故正月にと案じつつ、能登町の避難所に入ると、津波で被災した住民が日課を務める姿がありました。9月にも豪雨災害で尊い人命が失われました。この二重被災に難渋する人々の心はいかばかりでしょうか。僅かでも、元の日常に戻れるよう祈って止みません。

子育ての楽しさを！

産後ケアの利用者大きく増加



ひたち野うしくにある産後ケア施設「AteLu (アテルル)」

子育て世代包括支援センターを設置し利用者支援事業を実施する
1277万円

議員のここチェック

問 産後ケア利用料減免の対象者と委託先及び財源は

答 一人につき1回から10回まで助産師による保健指導が受けられ、そのうち1回から5回までが利用料減免となっている。産後ケアの内容としては、宿泊、通所、訪問、託児などがあり、委託医療機関は現在8か所で市内には2か所となっている。財源については2分の1が国からの財源である。

私もひとこと



アテルルのみなさん

通所と宿泊がありますが、宿泊を希望する方の利用が多くなっています。親子でゆっくりとした時間を過ごしていただき、産後ケアのあともプレスクールや一時保育などにつなげて切れ目のない子育て支援を目指しています。

お金はどう使われた?議会の視点👁️市民の声📣

温暖化対策は待ったなし

ゼロカーボンの取り組みを前へ進めよ



ゼロカーボンのまちづくりを推進する **291万円**

🏠 議員のここチェック

問 温暖化対策実行計画での温室効果ガスの削減目標を2030年までに2013年度比33.3%削減としているが、現状はどうか。

答 市から排出される温室効果ガスについて、産業、業務、家庭、運輸、産廃物部門の5部門に分類し削減目標を設定しており、産業部門以外は削減となっている。削減量は直近の数値は2013年度に比べて2020年度がプラス1.9%と増えている状況にあり、産業部門のCO2を減らすために補助制度の周知を図っていく。

私もひとこと👤

環境イベント
実行委員長
いのうえ たけし
井上 健さん



現時点で1.9%超過しており、削減目標の達成は難しいと感じます。またゼロカーボンの課題は排出する側だけでなく吸収側も取り組まなければ達成しない。

改めて現実的な数値目標の設定も検討する必要がある様に感じました。

最高額の寄附金額を達成

ふるさと寄附金が過去最高額



ふるさと寄附に対し特産品を返礼する **3億9596万円**

🏠 議員のここチェック

問 寄附額が7億7千万円と大きく増額になった要因は。

答 寄附が増額になった要因としては、返礼品のラインアップを強化し833品目まで増やした。ポータルサイトも拡充し5年度は新たに5つのサイトを開設して合計13のサイトで運用している。また新規の返礼品協力事業者の開拓を進め現在145事業者となっている。県の共通返礼品の活用も進め、特に常陸牛の返礼品は県内で2年連続1位となっている。

私もひとこと👤



返礼品のチーズケーキを作っている
洋菓子店カマンベールの塚原さん

チーズケーキを全国にお送りしご賞味いただくこととなりました。結婚や就職で牛久を離れた方が、「幼いときに食べたケーキが懐かしくて」と注文していただくこともしばしばあります。覚えていてくださったのだからとうれしく思います。

生徒にとってよりよい部活動のために

休日の部活動の地域移行 現在は野球、サッカー、女子バレー
(令和6年度はバドミントンも追加)



運動部活動の地域移行を推進する **302万円**

🏠 議員のここチェック

問 令和5年度の地域移行はどうか。また指導者の確保に向けての取り組みは。

答 月3回で年間36回の実施回数となり、種目は4年度と変わらない。保護者からは1000円の参加費をいただきNPO法人に業務を委託している。指導者は委託先がスクールコーチの経験者など必要な指導者の確保を行っており、今後もコーチ経験のある方や県の人材バンクに登録がある市内の方を指導者として派遣できるような体制を令和8年度に向けて検討していきたい。

私もひとこと👤

休日部活動の指導者

競技歴が豊富な指導者から専門的な技術や知識を学べる事は大きなメリットです。

現在は完全に別れて活動している通常の部活動と地域部活動が、どのように連携を取って地域移行を進めていくかが課題だと考えています。



小松崎 伸 議員 令和5年度決算状況は



答弁) 持続可能な行政運営ができるかの分岐点

質問 歳入では、地方交付税が全体の構成比でも、10%を超えたが。

答弁 (経営企画部長) 地方交付税に頼ることなく、ふるさと寄附の強化、ネーミングライツの導入など自主財源の確保に取り組んでいく。

質問 歳出では、投資的経費のほとんどである普通建設事業費が27億円減り、物件費などが増えているが。

答弁 ひたち野うしく中学校建設費や清掃工場延命化工事などがあったことから、その決算額は減少している。

質問 経常収支比率が、令和元年度91.2%であったが、令和5年度は、93.6%となり、財政構造の硬直化が進んでいるが。

答弁 費用対効果の検証や徹底した無駄の排除に取り組む。

質問 財政健全化判断比率の中で表示された唯一の実質公債費比率が、令和元年度2.4%だったのに対し、令和5年度は、3.0%と上昇しているが。

答弁 この指標値については、県内でも低い数値(県内第4位)となっており、直ちに警戒する状況ではない。

質問 少子高齢化、社会保障費の増加、税収減少、施設の老朽化など、課題は山積しているが、今後の財政運営、健全化の方針は。

答弁 (市長) 今、まさに持続可能な行政運営ができるかどうかの分岐点に立っている認識である。将来を見据えた財政基盤のもと、各種施策を複合的に強力に推し進めながら、「選ばれるまち」として市政運営を進めていく。



決算特別委員会の様子

東部地域の懸案事項

あるのか、それとも売却等を考えているのか。

質問 かつば号等の公共交通空白地の東部地域では高齢者の通院や買い物等のための移動の足として、かつてのNPO法人サンライズの復活を望む声が多い。故にこれを踏まえ、NPO法人等への移送の委託を検討すべきと考えるがどうか。

企業誘致の対象業種

答弁 (総務部次長) 売却の方

質問 閉園となった旧向原保育園については何等かの利活用計画がある。

質問 企業誘致の対象は通常は製造業であるが、機械の自動化等が進んでいるので雇用はあまり期待できないと考える。一方、つくば市には国の中央省庁に関連する研究所が林立しているが、これ等の研究所での研究対象は物事のハード面の研究が中心であることから、実社会で通用させるためには民間企業の研究所でのソフト面の研究開発が必要不可欠であり、そこでは当然のことながらマンパワーが求められると判断する。故に今後の企業誘致の対象業種としては民間企業の研究所を選択肢の一つとすべきと考えるがどうか。

石原 幸雄 議員 東部地域の高齢者の移送手段は



答弁) 将来的にNPO法人等への委託も検討する

答弁 (経営企画部次長) 今後、自家用自動車旅客運送事業の実証実験を行ない、実験終了後、NPO法人への委託を含めてサービスのある方を検討する。

答弁 (市長) 民間企業の研究所も含めて企業誘致に努めていく。



令和5年3月31日で閉園となった向原保育園

洪水浸水想定区域への対応策は

柳井 哲也 議員



答弁) 洪水ハザードマップを作り案内周知していく



牛久市防災アプリ

質問 牛久市は県より「洪水浸水想定区域」の指定を受けましたが、当該地区に新築のための申請書が提出された場合の対応は。

答弁 (建設部長) 市街化調整区域かつ、農業振興地域の農用地であっても都市計画法による開発行為の申請があった場合、開発不適区域には該当しないため、想定区域内であっても建築行為は可能である。市民の安全、防災の観点から、盛土による地盤の高上げや高基礎や想定浸水深さ以上への居室床面の設定など、氾濫時に人命を守る対策を講じる計画となるよう助言指導を行っていく。

質問 対象地区住民に対する広報手段は。

答弁 (市長) 防災アプリ「防災うしく」を始めとし、防災

行政無線、SNS、市ホームページ、地元消防分団による広報など、様々な広報手段を用いて、逃げ遅れが発生しないようにしていく。また水害ハザードマップを兼ねた市全体の防災マップを今年度中に作成し、市内全戸に配布していく。

増加する遊休農地対策は

質問 実態調査や支援策等はどうかしているのか。

答弁 (農業委員会事務局長) 農業委員会は担い手への農地の利用の集積集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化を積極的に推進している。後継者不足や高齢化により、遊休農地が拡大するなど懸念されているが、利用状況調査の他に現在10年後の農地の土地利用を想定した「地域計画」を策定しているところである。

ひとり暮らし高齢者への支援を

鈴木 勝利 議員



答弁) 相談体制の充実に努めていく



簡単な操作で消防本部に通報できる緊急通報装置

質問 見守り体制は。

答弁 (保健福祉部長) 緊急連絡先やかかりつけ医などを記載した見守り台帳の整備を行い、行政区などと情報共有している。また、銀行や郵便局、新聞販売店、ガス会社などが見守り協定を結び、異変に気がついた時に市へ通報してもらうことになっている。

質問 緊急事態に際しての対応は。

答弁 市では緊急通報装置の設置を行い、社会福祉協議会では、自身の医療情報などを記載したシートを入れた救急ボトルの設置を勧めている。

質問 防災支援は。

答弁 (市長) 自力での避難が困難な方を対象とした避難行動要支援者名簿を整備して

いる。

質問 身寄りのない方が亡くなった場合の対応は。

答弁 (保健福祉部長) 市ができることは火葬と埋葬を行うのみ。

学校における働き方改革の更なる加速化を

質問 教師の休憩時間の確保は。

答弁 (教育部長) 課題として認識している。好事例を参考に検討していく。

質問 校務DXの推進は。

答弁 従前のシステムではIGAスクール時代に適合しなくなり、人材配置やコスト面も十分でないため関係各所と検討していく。

質問 市長部局との理解・協力・連携体制は。

答弁 学校だけでは解決が困難な問題について、連携を図っていく。相談窓口として「かっぱコール」も働き方改革の一助になればと考えている。



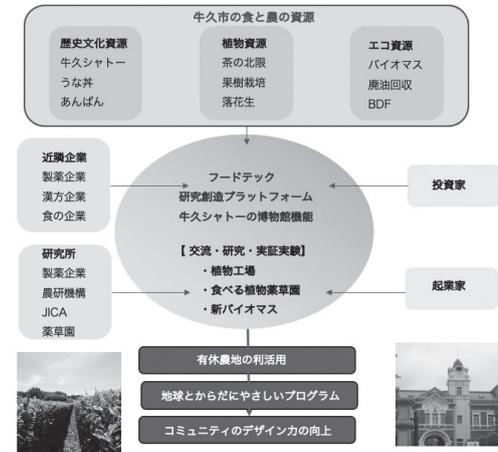
塚原 正彦 議員



フードテックで地球に優しいまちを

答弁) 成長分野として可能な課題解決の調査をすすめる

みる仕組
る仕組
みをつ



牛久フードテックコミュニティ構想
食の地域資源を持つ牛久市が核になり「フードテック」にかかわる研究成果と生活者をつなぐ学びと交流のプログラムを展開することで、若い研究者や起業家が参画する産業創造プログラムが展開します。

質問) 世界人口は2050年には95億人に増大し、食料生産力は限界となる。新しい科学と技術を総動員して食と地球環境の課題解決に挑む「フードテック」というビジネスモデルが注目されている。
健康食品のうな井と国産ワインが誕生した牛久にはフードテック先進都市の歴史がある。牛久市とその近隣には、農と薬に関連する研究、製造を担う専門機関も集積している。

答弁) (市長) フードテックコミュニティは、経済の分野から社会環境問題まで含むテーマで成長が期待され、政府の関心も高い分野である。食や農、環境、教育、福祉の課題をリンクさせながら課題を解決する視点が求められるため、関係各課と連携しながら調査をすすめていく。

市政に対する一般質問

二次元コードを読み取って一般質問の動画をご覧いただけます。一般質問の記事は、質問者自身の責任において書いております。



山本 伸子 議員



駅前周辺のさらなる受動喫煙対策を

答弁) 喫煙所の改善策や設置継続の有無も含め検討



広場に隣接した牛久駅東口のパーテーション型喫煙所。これで有効な受動喫煙対策といえるのか？

質問) 牛久駅東口やひたち野うしく駅通路2か所の喫煙所はパーテーション型のため、完全な受動喫煙対策とはなっていない。駅前には多くの人が利用する場所であり、特に次世代の子どもたちに受動喫煙を生じさせない対策は。
答弁) (保健福祉部次長) 現状において可能な範囲で受動喫煙に関する注意喚起の表示をし、今後については喫煙所の改善策や設置継続の有無も含め関係機関と協議をしていく。

質問) 平成28年にリニューアルした駅前広場は、安全で市民が憩い、にぎわいのある場所として整備がされた。しかし現状は市民に広く利用されているとは言えない。広場の管理運営を都市再生法人である牛久都市開発(株)や駅前の活性化を目的とし活動するNPO法人に委託をし、市民協働の駅前広場を提案するが。
答弁) (建設部長) 広場を一体的に整備・管理していく制度など先進事例を研究し、駅前広場の活性化につながるよう検討していく。

地域に必要なとされる公園を
質問) 公園のなかにはほとんど使われていないと思える公園もある。それでも維持管理に経費はかかる。地域の人の意見をいかし、必要とされる公園の整備が望まれるが。
答弁) (建設部長) 公園は設置から30年以上が経過し、周辺環境も変化してきていると認識している。利用者数や年齢層、利用状況など地域の実情に合わせた公園となるよう努めていく。

高齢者等の足の確保実現に向けて

黒木のぶ子 議員



答弁) 実証実験は高齢者を含む方々が利用する事業

質問 来年1月実施予定の自治体ライドシェア実証実験は、近隣4市が国の交付金を活用し運転手不足を解消するための事業であり、目的は地域の交通空白地の高齢者を含めた足の確保である。安全安心して乗車するための課題は何か。

答弁 (経営企画部次長) 一種免許のドライバーを募集し育成管理を行うドライバーバンクの創設と、課題を協議し整理して安全安心な運行の確保が課題である。

質問 実証実験はつくば市・土浦市・下妻市・牛久市の4市であり、地域性や人口等諸事情が違うが運行契約規則は4市同一なのか。牛久市の独自契約が必要と考えるがどうか。

答弁 4市共同事業なので基本協定を締結し、代表のつくば市が国の交付金申請事務や契約など実施するが、各市の運行形態をとりまとめている。

子どもの多様な体験の支援

質問 幼少期に様々な体験の機会を充実させることで、早期に将来の夢やなりたい職業への明確化が生まれ、興味を持ったことは自信に繋がります。現在実施しているキャリア教育に探求型を導入することで、普段の学校生活では出会うことのない専門性の高い職業等に触れ体験させることについて伺う。

答弁 (教育委員会次長) 学校の授業外の体験も充実させ、子どもたちの探求心を深め、年齢を超えた交流、ふれあいキャンプ等やキャリア教育の一環では医者や消防士、警察官等を招き職業の内容を学習している。



会計年度任用職員の労働条件改善を

杉森 弘之 議員



答弁) 適正な金額になるよう努める

劣悪な労働条件

質問 牛久市は会計年度任用職員の数が異常に多い。その待遇は劣悪で、特に1日わずか15分短くしてパート扱いで退職金なし、賃金は準拠する給料表が1級及び2級のみで頭打ちになっている職員も多く、常勤職員への道も総務省が紹介する非常勤での勤務経験の配慮を排するなど、早急な改善が必要ではないか。

答弁 (総務部次長) 号給の上限に到達している職員の数は22の職種で合計212人になる。3級は係長級であり、上限については、適正な金額となるよう努めたい。勤務経験の配慮はしない。

歩道改修で日立市モデルを

質問 歩道に斜めの箇所が多く、車いす等では歩行困難な、歩きにくい歩道の改修・整備はどのような状況か。

答弁 (建設部次長) 費用の大

歩道改修計画の策定を検討

質問 歩道改修に向けて牛久市は都市計画でどの様に位置づけているか。

答弁 (市長) 既設の歩道については現時点で整備計画はない。しかしマスタープランにも挙げてはいる通り、誰もが安心して快適に利用できる歩行者空間の整備を実現するためにも、エリアや路線の選定活用できる交付金の模索も含めて、歩道改修計画の策定に向け調査・検討していく。



斜めの部分も多く歩きにくい歩道

現住民への取組みのバランスは？

高嶋 基樹 議員



答弁) 満足度調査の結果等を参考に事業を進行中

質問 人口維持を目標とする本市において「流出抑止」の視点から、流入者への補助に対し、住み続けたい人への施策とバランスはどうか。

答弁 (経営企画部長) 妊娠期から子育て支援まで切れ目のない支援の充実、市民満足度調査で充実を求められていた

防犯強化・公共交通の維持、ハートフルクーポン券利用を市民に限定する等、市民サービス向上に努めている。市民への施策と移住支援の施策は、目的や対象も異なるためバランスの説明は難しいが、双方に対する施策の充実を図っていくことが、より安定した人口確保をするために重要と考える。

質問 市民満足度調査の年代は40代までが36%・それ以上が63%の回答。10年、20年先を見据えたデータとしてはどうであるか。

答弁 本市人口の年齢構成にに応じた回答数であり、高い年齢層が多いため、

調査項目によっては偏りがでる。統計調査としては中長期的な傾向を把握するため、大きな変更をせず継続することが重要。今後、方法や内容は引き続き検討していく。

今後の展望

質問 今後の流出抑止策や展望は。

答弁 (市長) 東端穴地区では新たな住宅需要に応えるため、区画整理事業を進めており、その強みをアピールする絶好の時期である。いかに社会増を継続していくかが課題と捉え、Uターン・イターンが促進し、持続的に世代が循環するまちづくりを展開していく。



市民の意見を反映させる仕組みとしての市民満足度調査



人口社会増を目指す財源確保策は

甲斐 徳之助 議員



答弁) 県と連携し企業誘致や宅地開発をすすめる

質問 人口減少社会は大きな問題で本市も例外ではない。特に地方都市においては近隣自治体間での競争になる。選ばれ続けるためにも魅力ある政策で人口増加を図るべき。そのためには財源が必要。人口社会増政策は、まず子育て世代支援策はどうか。

答弁 (保健福祉部次長) 小児マル福の高校生までの延長やワクチン助成金など独自の政策も行ってきた。今後も子育て世代の経済的負担軽減に向けて取り組む。

質問 雇用創出のためには企業誘致が有効。本社・スポーツ・イベント団体や学校関係等様々あるが、企業・工場誘致はどうしてきたか。

答弁 (環境経済部長) ※オーダーメイド方式を採用し、空き区画が続くリスクを回避してきた。

質問 オーダーメイド方式は条例か慣例か方針か。

答弁 条例ではなく市の方針で行っている。

質問 スピード感をもってトップセールスを行うべきと考えるが、県との情報共有などはどのようなか。

答弁 (市長) 整備は事前に企業の動向・可能性を把握し整備と並行して進めることが望ましいと助言されている。適地検討を行うため「開発可能性調査」を実施し企業の進出を目指す。

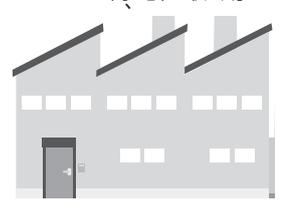
質問 働く環境の近くに住住してもらうためにも宅地開発をすべきだが。

答弁 (建設部次長) 今定例会に新たな宅地開発に向け調査検討業務の補正予算を上程している。

質問 調査の想定地区は。

答弁 ひたち野うしく地区である。

※企業の立地計画に合わせて場所・規模などをアレンジし、用地の交渉・取得から各種許可の取得、造成までを一貫して請け負うこと。



沼田市政の一年間の自己評価は

池辺 己実夫 議員



答弁) でき得る限りの施策に取り組むことができた



質問 この一年の取り組みに対してどのように自己評価しているか。

答弁 (市長) 市長就任以来、「アップデート牛久!! 笑顔あふれる未来へ」をスローガンとして、「子どもの医療費、教育格差、小中学校の給食費、市役所窓口の待ち時間など『8つものゼロ』に最優先で取り組んできた。

振り返れば、市長就任直後に職員の不祥事の発覚や事務処理のミスなどが続き、その対応に追われ、慌ただしい毎日ではあったが、「でき得る限りの施策に取り組むことができたのではないか」と私自身

としては評価をしている。引き続き市民の皆様のお声やお知恵をお借りし、一つひとつ課題解決にむけてスピード感をもって、着実に取り組んでいく。

新たな道路愛称選定委員会の設置

質問 ひたち野うしく地区の活性化を図る上でも、新たな道路愛称選定委員会を設置し、二所ノ関部屋に関連する道路の愛称についての議論を進めるべきと考えるがどうか。

答弁 (建設部長) 平成23年度の解散後は委員会が設置されていないのが現状である。市としても二所ノ関部屋所属の力士を応援することは当然な流れであるが、現在の地元の盛り上がりや機運の高まりが顕著であると言えるまでには至っていないため、委員会を設置する段階にはないと判断している。今後の更なる機運の高まりを期待したい。

新たな道路愛称選定委員会を設置し、二所ノ関部屋に関連する道路の愛称についての議論を進めるべきと考えるがどうか。

算数セットの備品化については

水梨 伸晃 議員



答弁) 長く使えるものは学校での整備も検討

質問 小学校入学にあたり、算数セットを保護者が負担をして購入しているが、学校の備品化とすることにより、保護者の経済的負担と1個1個すべてに名前を書くような負担を軽減することができると考えるが。

答弁 (教育部長) 消耗品については個人での購入、他のプラスチック製品で長く使えるものは学校で整備することも含め、現場の声を参考にしながら検討する。



算数セット

質問 今年度の危険箇所調査
通学路危険箇所の
ホームページ更新状
況は

答弁 今年度の危険箇所調査

対応状況を今年度中にホームページで公開してほしいが。

児童クラブの昼食に弁当注文の導入を

質問 共働きの世帯が多くなり、朝の多忙な時間の中で保護者にとって弁当の準備は負担が多いと考える。さらにこの暑さの中で弁当は冷蔵庫がない所で保管をしているクラブもある。保護者が弁当宅配業者などへ、注文できるよう取り組むべきと考えるが。

答弁 (教育委員会次長) 公設8か所の児童クラブで公平にサービスが提供できるか確認する必要がある。

質問 条件にあった弁当宅配業者があれば取り組むのか。

答弁 現場の職員が不足している現状なので、負担がかかる作業は避けたい。

加藤 政之 議員

近年のゲリラ豪雨による水害対策は



答弁) 様々な水害対策を行い安全対策に努めている

質問 近年のゲリラ豪雨による、道路の冠水箇所の把握について伺う。

答弁 (建設部長) 過去に発生した冠水箇所の記録などを基に、降雨時の職員による現場巡回や、市民の方の情報提供を基に現地確認を行い、発生箇所の把握に努めている。

質問 想定外の降雨量による被害予測について伺う。

答弁 関東地方で想定される最大降雨量である、1時間当たり153ミリの降雨に対する浸水シミュレーションを実施し、想定外の雨量による危険箇所の被害予測について把握を行っている。

質問 冠水箇所の整備状況と今後の整備計画について伺う。

答弁 (市長) これまで、みどり野、東みどり野、田宮町、神谷、神谷二区、かわはら台上町、下町などにおいて、整備を実施しており、現在は冠

水被害が低減している。

今後の整備計画については、現在、南1丁目地内において実施している雨水管の整備工事を継続し、新たな対策が必要な箇所の抽出に努め迅速に対応していく。

質問 水害ハザードマップの進捗状況について伺う。

答弁 (市民部長) 水害ハザードマップは、総合防災マップとして作成する予定で、配布時期については、年内配布を目指し進めている。



伊藤 裕一 議員

運転診断アプリを導入しては



答弁) 他自治体の動向を注視し調査研究

質問 高齢者の免許返納は外出機会減少により健康悪化につながる恐れもある。運転見極めが肝心であり、運転診断アプリを導入してはどうか。

答弁 (市民部次長) 安全運転意識の向上をはかるうえで有効なツールであるが、個人情報を提供することになるため、導入している他自治体の動向を注視し、調査研究をしていく。

質問 マンション建設に伴い牛久駅西口の時間貸し民間駐車場が閉鎖された。影響の把握状況を伺う。

答弁 (建設部長) 該当場所は100台弱の駐車場であり、影響も考えられるが、意見や問い合わせは極わずか。今回一時貸し駐車場の利用状況調査を実施したが、駐車場の供給に差し迫った状況があるとは判断できかねる。

自治体間交流

質問 市長は7月に台湾の桃園市を訪問したとのことであるが、同市は国際空港が立地する台湾の主要都市である。



台湾桃園国際空港

友好都市締結も視野に関係を深めることはメリットがあると考えるが、今後の展開を伺う。

答弁 (市長) 桃園市役所において、同市の観光関係者を牛久市に招待し、牛久大仏や牛久シャトーなどの観光資源や、物産品について案内することを提案した。将来的には友好都市などの提携を視野に、結びつきを育む。

質問 近年、自治体間交流を経済交流につなげる例もあるが見解を伺う。

答弁 (環境経済部次長) 姉妹都市や甲州市、西尾市と互いの地場産品販売等を行っており、継続して交流を深める。

困難な問題を抱える女性への支援

伊藤 知子 議員



答弁) 相談窓口としては、「フェミニスト相談」が該当

質問 生活困窮やDV、性暴力被害など、自力では解決できない問題や悩みを抱える女性がいる。こうした女性の相談窓口は、**答弁 (市民部次長)** 毎週月曜日の「フェミニスト相談」の他、DVに関しては、市民活動課男女共同参画推進室でも受け付けている。

質問 周知について伺う。**答弁** 「フェミニスト相談」は、広報うしく毎月15日号の裏表紙に日時と予約電話番号を周知。また、当市HPのほか、複数のウェブサイトに掲載している。

質問 身近に相談でき、適切な支援につなげる役割である、「女性相談支援員」の配置の考えは。**答弁** 関係機関との連絡を密に保ち、つなぐことで、問題が解決するよう支援する。市の女性相談支援員の配置までは考えていない。

動物愛護の活動
質問 本市の動物愛護協議会設立の状況は。**答弁 (環境経済部次長)** 市内獣医師会議で、協議会設置の際の参加について大部分の方から、共生協力員会議でもそれぞれ賛同いただき、愛護団体とも連絡を取り合っている。牛久市動物愛護協議会の設立も、なるべく早い時期に実現できるように取り組む。

質問 市の施設で、保護猫譲渡会を開催できないか。**答弁** 猫の保護に関しては、最終的には飼い主を見つけることが必要になる。問題解決のため、譲渡会の開催を支援したいと考える。公共施設での開催については、調整が必要なる場合もあるかと思いが、開催できる方向で支援していきたい。



市役所敷地内の木陰で開催された譲渡会 (守谷市)

スクールソーシャルワーカーの現状

藤田 尚美 議員



答弁) 市で1名が対応しており、人材不足である

質問 スクールソーシャルワーカーの活動内容は。**答弁 (教育長)** 家庭訪問や登校支援、福祉的側面の支援を行っている。

質問 人材確保をし、増員の考えはあるか。**答弁** 県の事業を利用した社会福祉士の派遣や、スクールソーシャルワーカーの勤務時間等を増やす方向で調整していく。

質問 中学校区ごとに1名のスクールソーシャルワーカーを配置する考えは。**答弁** 現状は難しい状況であるが、人材確保や増員は大切であると考える。有資格者の人材不足や財政的な問題等もあるが、今すぐにはとはいかないが、充実していく方向で検討していきたい。

放課後児童クラブの昼食提供
質問 長期休業中の昼食提供の考えはあるか。取手市は、保護者が注文購入し、弁当業者が児童クラブまで配達してくれる仕組みである。市としての見解を伺う。**答弁 (教育委員会次長)** 対応可能な業者が見つかり、弁当業者と児童クラブの受け入れ体制が整った場合には、期間の短い冬休み、または春休みなどを利用して、試験導入していく。

視覚障がい者の情報取得
質問 ハザードマップに音声コードを付けることへの見解は。**答弁 (市民部長)** 個別避難計画を作成し、人的サポート体制を築き、音声コードを利用したアプリ等、調査研究に努めていきたい。



仕出し弁当 (イメージ)

出澤 大 議員

本市の公営住宅の現状は



答弁) 牛久市は 266 戸の市営住宅を管理している

	県営住宅	市営住宅	合計	人口	一人当たり戸数
1 日立市	2127	3762	5889	169,785	0.0347
2 水戸市	4175	3566	7741	270,010	0.0287
3 高崎市	128	640	768	26,866	0.0286
4 藤原市	394	182	576	26,890	0.0214
5 ひたちなか市	1592	1751	3343	156,435	0.0214
6 大子町	0	329	329	15,444	0.0213
7 北条市	60	819	879	41,448	0.0212
8 大井町	0	329	329	15,922	0.0207
9 藤岡町	30	346	376	18,379	0.0205
10 常陸大宮市	70	597	667	39,370	0.0169
11 土浦市	1036	1200	2236	141,418	0.0158
12 桜川市	190	360	550	39,041	0.0141
13 常陸大田市	54	539	593	48,222	0.0123
14 茨城町	104	250	354	31,098	0.0114
15 石岡市	144	594	738	71,817	0.0103
16 結城町	108	322	430	50,349	0.0085
17 阿見町	102	306	408	49,161	0.0083
18 笠間市	253	351	604	73,787	0.0082
19 鹿嶋市	448	158	606	75,813	0.008
20 取手市	184	626	810	101,606	0.008
21 稲敷市	48	214	262	38,377	0.0068
22 境町	0	165	165	24,785	0.0067
23 つくば市	644	829	1473	252,202	0.0058
24 下妻市	72	155	227	42,419	0.0054
25 古河市	396	326	722	140,959	0.0051
26 鹿嶋市	66	270	336	66,274	0.0051
27 那珂市	0	268	268	53,839	0.005
28 常陸市	48	253	301	61,852	0.0049
29 小美玉市	0	229	229	49,224	0.0047
30 鹿嶋村	162	0	162	38,424	0.0042
31 藤岡市	0	182	182	47,181	0.0038
32 行方市	0	125	125	32,502	0.0038
33 河内町	0	31	31	8,140	0.0038
34 神埼町	210	118	328	94,710	0.0035
35 坂東市	0	178	178	52,639	0.0034
36 守谷市	168	66	234	70,414	0.0033
37 牛久市	0	262	262	84,293	0.0031
38 取手市	0	272	272	106,011	0.0026
39 かすみがうら市	90	0	90	40,628	0.0022
40 つくばみらい市	0	74	74	53,004	0.0014
41 八千代町	0	0	0	21,224	0
42 利根町	0	0	0	15,409	0
43 奥津村	0	0	0	14,605	0
44 五霞町	0	0	0	8,112	0

茨城県が出している公営住宅所在市町村別・管理戸数を元に本人が作成

【質問】本市の公営住宅戸数は県内29位、人口で除した一人当たりになると県内37位となる。入居率を伺う。

【答弁】(建設部次長) 入居率は64%であり、年々減少傾向となっている。

【質問】管理戸数が少ない本市の状況においても、低い入居率、応募倍率となっている古い住宅は建て替えやリノベーションが必要だと考えるが、認識を伺う。

【答弁】建物の老朽化が入居意欲の低下の要因の一つである。また、入居時にエアコンや風呂釜、浴槽などを用意しなければならぬ事も要因の一つであるとの認識だ。牛久市市営住宅長寿命化計画に基づき改修していく。その計画も全面改定を行っているので、順次改修をしていく予定だ。

【質問】ハートフルクーポン事業の目的は

【答弁】(環境経済部次長) 事業実施における基本的なスキームや、詳細の条件等は商工会で決定をしている。商工会への加入者の増加につなげている現状については了承している。今後は他市町村の状況の確認や市内事業者への聞き取りを行い、より良い制度となるよう取り組む。

【質問】ハートフルクーポン事業への参加要件として商工会加盟事業者に限定しているが、税金を投ずる事業である以上、商工会に加盟していない事業者も参加できるように改善すべきだと考えるが、認識を伺う。

【答弁】(環境経済部次長) 事業実施における基本的なスキームや、詳細の条件等は商工会で決定をしている。商工会への加入者の増加につなげている現状については了承している。今後は他市町村の状況の確認や市内事業者への聞き取りを行い、より良い制度となるよう取り組む。

遠藤 憲子 議員

市道22号線に右折レーン設置を



答弁) 完了まで数年を要し設置に向け進めていく

【質問】市ぶどう園踏切(市道22号線)から国道6号の出口「牛久市役所入口」に右折レーンの設置を。

【答弁】(市長) 既に委託契約を交わし測量業務を実施。今年度中に用地境界の確定、地権者に対して用地協力に向けた意向確認を実施していく。用地取得や補償、右折レーン設置工事へと順次進めていく。

【質問】完了まで数年を要するが右折レーン設置に向け進めていく。

【答弁】(教育委員会次長) 財政状況を勘案しながら実施時期

【質問】小学校給食費無償化の考えと試算は。

【答弁】(建設部次長) 住宅空室室の原因、改修計画は。

【質問】市営住宅の空き家状況、改修計画は。

【答弁】(建設部次長) 住宅空室室の原因は、建物の老朽化と入居時にエアコン、給湯施設等費用負担が要因。木造は空家として順次解体計画。鉄筋コンクリート造は、「長寿命化計画」で耐久性・安全性など必要な改修を実施する。

【質問】猪子住宅の今後は。

【答弁】集約・建替え事業の見直しが必要である。長寿命化計画で検討していく。



右折レーンの設置が待たれる交差点

【質問】市ぶどう園踏切(市道22号線)から国道6号の出口「牛久市役所入口」に右折レーンの設置を。

【答弁】(市長) 既に委託契約を交わし測量業務を実施。今年度中に用地境界の確定、地権者に対して用地協力に向けた意向確認を実施していく。用地取得や補償、右折レーン設置工事へと順次進めていく。

【質問】完了まで数年を要するが右折レーン設置に向け進めていく。

【答弁】(建設部次長) 住宅空室室の原因は、建物の老朽化と入居時にエアコン、給湯施設等費用負担が要因。木造は空家として順次解体計画。鉄筋コンクリート造は、「長寿命化計画」で耐久性・安全性など必要な改修を実施する。

【質問】猪子住宅の今後は。

【答弁】集約・建替え事業の見直しが必要である。長寿命化計画で検討していく。

【質問】市ぶどう園踏切(市道22号線)から国道6号の出口「牛久市役所入口」に右折レーンの設置を。

【答弁】(市長) 既に委託契約を交わし測量業務を実施。今年度中に用地境界の確定、地権者に対して用地協力に向けた意向確認を実施していく。用地取得や補償、右折レーン設置工事へと順次進めていく。

【質問】完了まで数年を要するが右折レーン設置に向け進めていく。

【答弁】(建設部次長) 住宅空室室の原因は、建物の老朽化と入居時にエアコン、給湯施設等費用負担が要因。木造は空家として順次解体計画。鉄筋コンクリート造は、「長寿命化計画」で耐久性・安全性など必要な改修を実施する。

【質問】猪子住宅の今後は。

【答弁】集約・建替え事業の見直しが必要である。長寿命化計画で検討していく。

市の住宅政策の現状と今後

【質問】市営住宅の空き家状況、改修計画は。

【答弁】(建設部次長) 住宅空室室の原因は、建物の老朽化と入居時にエアコン、給湯施設等費用負担が要因。木造は空家として順次解体計画。鉄筋コンクリート造は、「長寿命化計画」で耐久性・安全性など必要な改修を実施する。

【質問】猪子住宅の今後は。

【答弁】集約・建替え事業の見直しが必要である。長寿命化計画で検討していく。

【質問】市ぶどう園踏切(市道22号線)から国道6号の出口「牛久市役所入口」に右折レーンの設置を。

【答弁】(市長) 既に委託契約を交わし測量業務を実施。今年度中に用地境界の確定、地権者に対して用地協力に向けた意向確認を実施していく。用地取得や補償、右折レーン設置工事へと順次進めていく。

【質問】完了まで数年を要するが右折レーン設置に向け進めていく。

【答弁】(建設部次長) 住宅空室室の原因は、建物の老朽化と入居時にエアコン、給湯施設等費用負担が要因。木造は空家として順次解体計画。鉄筋コンクリート造は、「長寿命化計画」で耐久性・安全性など必要な改修を実施する。

【質問】猪子住宅の今後は。

【答弁】集約・建替え事業の見直しが必要である。長寿命化計画で検討していく。

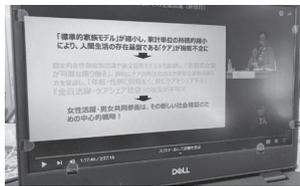
市職員の働き方改革の進め方は？

須藤 京子 議員



答弁) 時間外の縮減を始め働きやすい職場を目指す

質問 子 育てや介 間外を防 ぐための 対策を講 じること として。 質問 子 育てや介



オンラインで実施している 男女共同参画研修

答弁 (総務部長) 職員の時間 外勤務時間の上限は規則で規 定されている。現状は、既定 の月45時間を超える職員がの べ307人、過労死ラインの 80時間超えがのべ46人、 100時間超えはのべ40人に 上り、看過できない状況だっ た。その是正のため、7月か ら組織的に時間外勤務をリア ルタイムで把握し、過度な時

質問 2018年の「働き方 改革関連法」の制定により、 多くの企業で働き方改革が進 められている。しかし、その 流れの中で公務員の働き方改 革は進んでいない。市でも時 間外勤務の実態調査が始まっ たが、私のもとにも職員の家 族から、長時間勤務による健 康への影響を心配する声が寄 せられている。特定事業主と しての取り組み状況は。

答弁 市では、既に男性、女 性といった視点ではなく能力 ある職員の登用が一般的であ る。しかし、女性職員の活躍 のため、仕事と家庭の両立が できる環境整備が重要である と認識している。

答弁 育児・介護に係る休業 等取得しやすい環境整備の ため職員不足とならないよう 配慮し、固定的な性別役割分 担意識等の是正のための研修 を行っている。

(掲載以外の質問事項)
○令和5年度決算、障害福祉 サービス等報酬改定による 就労系事業所への影響、高 齢障がい者の福祉サービス

市役所職員の現状は

大森 和夫 議員



答弁) 常勤職員定数430人として、35人不足

質問 運転免許証返納対策 運転免許証返納者に対 しては。 答弁 未受診94人に連絡対応。 62名が病院などで受信し連絡 継続している。

質問 不登校の対策は 直近3年間の小中学校 の不登校の人数・対策・実績 などは。 答弁 (教育委員会次長) 令和 3年度176人令和4年度 230人令和5年度202人。 対策の充実とフリースクール 対応などのPRに努める。

質問 現状人員・職種・正規・ 非正規の数は。 答弁 (総務部次長) 8月1日 現在394人。会計年度任用 職員567人。 質問 運転手の直接雇用(特 別職員としての採用)で、かっ ぱ号、うしタクなどへ活用は。 答弁 技能労務職員は採用中 止。バス事業拡大はしない。



接触防止策が待たれる通学路 (上池台地区と第八岡見地区)

質問 竹の台地区雨水対策で の側溝の大型化は。 答弁 下流側のU字溝の大型 化などの対策と国からの交付 金などを含め検討する。

質問 上池台地区と第八岡見 地区の連絡路の安全対策は。 答弁 歩行者の安全対策で通 行帯のカラー化や歩車分離対 策を検討する。 質問 災害対策は 通学路の自動車減速帯 を作る、路面凹凸版、S字道路、 パイロン・ドラム缶の設置は。 答弁 (建設部次長) 安全確保 のため危険個所の抽出と対策 を順次実施する。

する交通支援策については。 答弁 (市民部次長) 支援策の 予定はない。

議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対
 諸橋太一郎議長(自民党うしく21)は採決には加わっておりません

賛成全員で可決または認定等された議案等

議案番号	議案等名
【第3回定例会】	
50号	牛久市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
52号	令和6年度牛久市一般会計補正予算(第2号)
53号	令和6年度牛久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
54号	令和6年度牛久市青果市場事業特別会計補正予算(第1号)
55号	令和6年度牛久市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
56号	令和6年度牛久市下水道事業会計補正予算(第1号)
57号	令和5年度牛久市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
58号	訴えの提起について
59号	工事請負契約の締結について
61号	物品購入契約の締結について
63号	牛久市教育委員会委員の任命について
諮問第15号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
決議案第1号	牛久市と二所ノ関部屋の末永い友好関係に関する決議について
意見書案第7号	慢性閉塞肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書の提出について
請願第3号	「牛久市環境基本計画及び牛久市地球温暖化対策実行計画」の早期の見直しを求める請願

賛否が分かれた議案等

議案番号	議案等名	市民クラブ	自民党うしく21	公明党	日本維新の会	日本共産党	うしく未来プロジェクト	無党派(小松崎)	無党派(山本)	無党派(池辺)	無党派(甲斐)	無党派(磯山)	議決結果
【第2回臨時会】													
49号	物品購入契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
【第3回定例会】													
51号	牛久市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
60号	物品購入契約の締結について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	可決
62号	茨城租税債権管理機構規約の変更について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
認定1号	令和5年度牛久市各会計歳出歳入決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
意見書案6号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	可決

令和6年第2回臨時会
 おくの義務教育学校給食室の備品購入
 冷凍冷蔵庫、回転釜、コンビオーブン購入及び継続使用可能な備品の移設費用
6906万円



教育委員会委員の任命
 令和6年9月5日の本会議において、全員賛成で同意しました。
 教育委員会委員 磯山 貴洋氏
 令和6年10月1日(令和10年9月30日)

会派構成

市民クラブ	自民党うしく21	公明党	日本共産党	日本維新の会	うしく未来プロジェクト	無党派
黒木のぶ子 須藤 京子 杉森 弘之 出澤 大 加藤 政之	諸橋 太一郎 石原 幸雄 高嶋 基樹	藤田 尚美 鈴木 勝利 伊藤 知子	遠藤 憲子 大森 和夫	伊藤 裕一 水梨 伸晃	塚原 正彦 柳井 哲也	小松崎 伸 山本 伸子 池辺 己実夫 甲斐 徳之助 磯山 和男

※牛久市議会では会派制を採用しているため、会派名で記載しています。

エスカード牛久ビル及び牛久シャトーの利活用の推進に関する特別委員会を設置!
 今後の利活用についての調査研究をし、牛久市への提言を行う。



常任委員会審査報告

総務企画常任委員会

市職員の不法行為による損害について賠償を求める訴状を提出

問 本人は否を認めているか。

答 否は認めているが未だ返済はされていない。

問 今後の再発防止策は。

答 今回の事件は、資金管理者が執行を兼ねていたことに原因があった。公益通報制度の仕組みを整え、部長級が管理するよう公金取扱いマニュアルの改正を行い、団体会計を預かる職員を対象に研修を行った。

問 複数の協議会や団体の預金から引き出された約900万円は、まだ返済がないが、これら団体への説明と影響は。

答 各団体の総会等において説明と謝罪を行った。損害金による影響はないと聞いている。

茨城租税債権管理機構規約改正

(内容) 令和6年度より国税である一人年額1000円の森林環境税が個人住民税均等割にあわせ市町村が賦課徴収することに伴い、機構

が扱う滞納事案に森林環境税を含むよう改正するもの。

※市町村税の滞納整理困難事案の処理を行っている。

教育文化常任委員会

令和6・7年度にかけて牛久

運動公園体育館屋根を改修

問 工事後の耐用年数はどれほどか。

答 工事はウレタン系の塗膜を使用し、耐用年数は10年で、今回の工事により漏水や傷んでいる部分の整備が行われる。

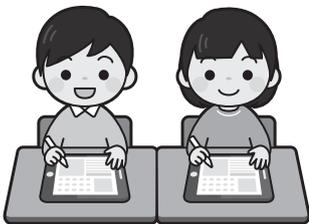
小中学校のタブレット端末で
使用しているソフトウェア
ライセンスの購入

(内容) 令和2年11月に導入したG1G

Aスクールタブレット端末で使用しているソフト

(授業支援、フィ
ルタリング及び
ウイルス対策、
学習支援)の購

入。期間は1年
間。



教職員定数改善と義務教育費
国庫負担制度堅持のための
政府予算に係る意見書

内容の詳細はホームページ



保健福祉常任委員会

家庭的保育事業所の
保育士などの配置基準を改正

(内容) 家庭的保育事業及び事業者内

保育事業での3歳以上の職員配置の最低基準(保育士1名で対応できる児童数)を国の改正基準に従い改正するもの

問 今後は市内には家庭的保育事業所はないが、条例改正の通知はしているのか。

答 すでに市内の全施設に通知をしてお知らせしている。

国民健康保険被保険証の返還に
応じない場合の過料が廃止へ

(内容) 12月2日から国民健康保険の被保険証が廃止されることから、返還に応じないものに過料を科す

規程を削除するもの

問 国民保険料滞納者の短期保険証の取扱いはどうなるのか。

答 マイナンバー保険証や資格確認書に移行すると短期保険証の仕組みはなくなる。そうした方々への対応が国からまだ示されていない部分があり、近隣市町村と情報交換をしながらどのように対応するかを今後判断していく。



慢性閉塞性肺疾患(COPD)
の潜在的な患者に対する
適切な対応を求める意見書

内容の詳細はホームページ



令和5年度下水道事業会計の

資本的収支の不足を補填

(内容) 令和5年度の資本的収支の不足額について、令和5年度末の未処分利益剰余金残高2億2233万9771円のうち6218万8448円を補填財源として資本金へ繰り入れる。

「牛久市環境基本計画及び牛久市地球温暖化対策実行計画」の早期の見直しを求める請願

(内容) 2030年CO₂削減目標を基準年(2013年)比で33%では、確実に2035年に60%達成は現実的ではないため、2026年をまたず、削減目標の早期改定(引き上げ)を求めるものである。

CO₂削減目標の中で、自動車や電気自動車に変えることによるエネルギー削減の想定は。

(答) 電気自動車にすることによって、電力の消費量は増えるが燃料エネルギーの消費量は大幅に減るので、効率がよくなるということが技術的には言える。



牛久市 環境基本計画 牛久市地球温暖化対策実行計画

豊かな自然を守り育てる 暮らしのあるまち USHIKU CITY



環境基本計画はこちら

予算常任委員会

北部地域の宅地開発調査を実施 434万5千円

(問) 調査を実施する場所は具体的にどこになるのか。

(答) 現在宅地化を進めている東端穴地区に続き、なるべく早く次の展開に続けるようにと考えている。場所については、宅地の需要や埋蔵文化財の有無、市街化区域に隣接しているかどうか、駅や小中学校までの距離等を踏まえ調査検討することになっている。今のところはひたち野うしく地区を想定。

入札不調によりおくの義務教育学校一体型校舎の建設費が繰越へ 3億1488万円

(問) 入札不調の原因は何か。

(答) 業者へのヒヤリングの中で人手不足の影響や工事価格の上昇により、建設業界の現況において市で示した金額や条件で入札するのが妥当ではないということだった。

(問) 補助金は継続になるのか。

(答) 体育館及び武道場の補助金について国から示されている金額は7212万9千円で国から繰越承認を受けている。令和7年度は補助を受けた状態で工事を実施することができ。

(問) 今後の入札執行時期は。

(答) 現在、工事費等については積算中である。工事価格の上昇や人手不足の課題等を把握して、令和6年度中には改めて入札を行いたい。

市職員のマナーアップ研修 180万円

(問) 具体的な内容は。

(答) 窓口業務に関わるマナーや電話等の接遇研修で電話や窓口応対というのは、市役所の顔になるため、

市民の方の印象、市役所を印象づけることから648人の大規模な研修を行う。

産後ケアの委託料を増額補正 949万5千円

(問) 増額補正には、どのような背景があるのか。

(答) 国の施策により、在宅ケアを実施するには条件等があったが、令和5年度からは1歳未満の子どもを持つ母親からの希望があれば利用できるという対象者を拡大したことがある。

シティプロモーションを強化 880万円

(問) 補正予算の内容、今後の構想や進め方、想定している業者は。

(答) コンサルティング業務委託を実施し、今後、中長期的にプロモーションをしていくための手法や、牛久市が持つ優位性などの洗い出しにかかる費用である。現在、活用しているキャッチコピーについても見直しを考えており、市制40周年を迎えるにあたり、市のプロモーションについても大きく見直したい。また業者の選定方法はプロポーザル方式を検討していく。

たくさんのご応募ありがとうございました！

議会だよりの題字が決まりました

多くの素晴らしい作品の中から、4点の作品を議員全員で決定しました。

今回の発行号より順次、表紙題字として掲載します。

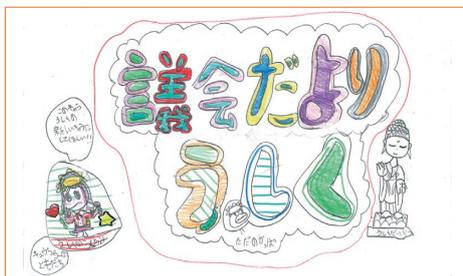
後日ホームページでも
応募作品を紹介します！

🏆 議長賞

(下根中2年)

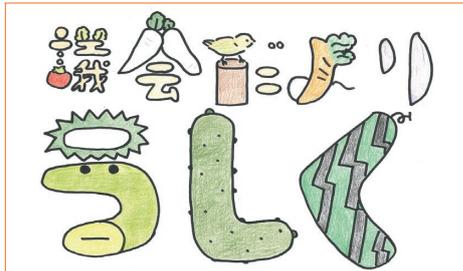
🏆 副議長賞

(中根小3年)

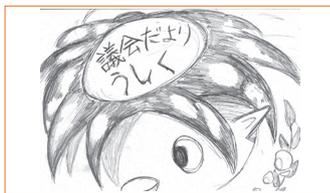


🏆 広報常任委員会賞(牛久三中1年)

🏆 牛久市議会議員賞(下根中3年)



その他の素敵な作品を紹介します。



\\ これからの牛久市について
議員と語り合しましょう //

意見交換会

\\ 親子や学生さんの
参加も大歓迎! //



11.9 土

午前10時～11時30分



\\ 今年は3ヶ所で
同時に開催!
都合のいい場所に
ご参加ください。 //

場所：中央生涯学習センター
三日月橋生涯学習センター
奥野生涯学習センター

中央生涯
学習センターには
キッズスペース
を用意!



みんなが読む本をいつもきれいにして届けるためにー

「図書修理の会」の皆さんが活動しています

中央図書館の本は、市民の皆さんが借りるほか、小中学校や保育園にも貸出をしています。そうした本が破けてしまったり汚れてしまったところを丁寧に補修し、また皆さんにお届けするボランティアが図書修理の会です。もとは市が主催した製本講習会に参加した本好きな人たちが、その後も図書館の本の修理を自主的におこない今に至っているそうです。



毎週水曜日の午前10時から中央図書館で活動しています。本が好きで製本や補修に興味のある方、一緒に活動しませんか。



はずれそうなページに糊やテープで補修をします



児童クラブや保育園から補修する本が毎週届きます

補修が難しいところを和紙や糊で補修して、きれいになってまた皆さんに手に取ってもらえることが何よりうれしいとのことでした。修理の会の皆さんの、こうした目には見えない仕事が私たちの文化活動を支えてくださっています。

議会TOPICS

決議案を賛成全員で可決

牛久市と二所ノ関部屋の末永い友好関係に関する決議

令和6年の夏場所に優勝を果たした大の里など、二所ノ関部屋には多くの有能な力士が所属している。二所ノ関親方と所属する力士の活躍は、牛久市として大きな情報の発信源になることは必定であるため、今後とも末永く友好・協力関係を維持されるよう牛久市に対し求めるもの。



議員研修会を行いました

9月27日
「議員定数・議員報酬の決定手法と地方財政等への影響」

ひろ せ かつ ひ こ
講師：廣瀬和彦氏
(株)廣瀬行政研究所代表取締役



視察研修を行いました

環境建設常任委員会

- 東川町 (6月25日)
写真のまちづくり事業
- 美瑛町 (6月26日)
景観によるまちづくりとオーバーツーリズムの課題

広報常任委員会

- 三春町議会 (8月8日)
- 高根沢町議会 (8月9日)
- 議会だよりの編集について

編集後記

【訂正とお詫】
第119号、石原議員の一般質問(3ページ)、本庁舎建て替えの答弁中「建築後60年を目途に」とあるのを「10年後を目途に」と訂正しお詫びいたします。

議会を知っていただくには、こうした議会だよりに手にとってもらうことも大切です。今回はより身近に感じていただくために、表紙の題字を公募したところ443作もの反響がありました。力作ぞろいですが、心苦しいものもありましたが、応募いただいた作品はなるべく披露していけるよう委員一同、取り組んでまいります。

さて、今回は決算も含まれ内容も盛り沢山ですが、私は毎号「なるべく多くの情報を限られた文字数で、なおかつ正確で伝わりやすく」を念頭に広報誌の作成にあたっています。情報量も多く、隅々までご覧いただくには飽きてしまうかもしれませんが、特に一般質問は議員それぞれの持ち味が見てとれるので、その違いを見つける感覚でここから入っていただくと面白いかと思います。これを機に若い世代の読者も増えてくれると嬉しいです。(高嶋)

広報常任委員会
委員長 山本 伸子
副委員長 水梨 伸晃
委員 磯山 和男
大森 和夫
伊藤 知子
出澤 基樹
高嶋 大